

ひらやま七号

明日から夏休みが始まります。わたしは、一学期にがんばったことが四つあります。

一つめは、リコーダーです。わ
 たしは、音楽のじゅぎょうが
 にも、昼休みに、音楽室へ行
 といっしょに練習をしています。今
 コーダーの練習をしています。今
 では、ひまわりフェスティバル
 曲もひけるようになってしまし
 をして、いろいろな曲をマス
 したいです。
 二つめは、水泳です。わたしは、
 もともとは泳ぐのは苦手でした。
 も今は、プールのじゅぎょうで、
 先生たちがたくさん教えてもら
 て、泳ぎが少しくいになりました。
 た。今年の水泳は終わりましたが、
 来年の水泳では、もっと泳ぎが
 来いになりたいです。そのため
 くに、川やプールへ泳ぎの練習
 をしに行きたいと思っています。
 三つめは、社会科見学です。わ
 たしは、一学期に権現原浄水場
 の教えました。権現原浄水場の
 たので、たくさん分かります。
 が、たくさんあると思うので、そ
 時にもたくさん見学すること
 す。四つめは、クラブ活動です。
 たしは、バドミントンのクラブ
 に入っています。わたしの今
 うは、年上の人たちのなか
 くなりながらバドミントンをう

一学きにがんばったこと
二年三組 金丸 美心

わたしは、二年生になって、この一学期にがんばったことが四つあります。

一つ目は、こうつうあんずです。おうだんほどでは、きちんと手をあげてわたります。「いのちをまもることは、とてもたいせつだな。」と思うからです。

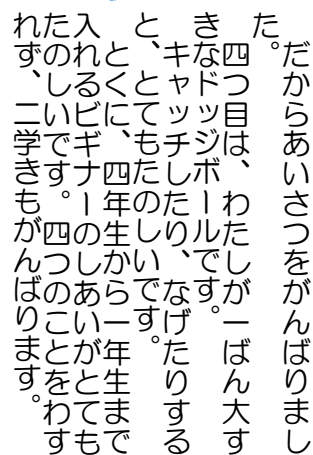
二つ目は、はつたからです。わたしは、じゅぎょう中、先生が話したことをしっかりと聞いています。友だちがこたえたら、「もつ」とい考えはないかな。」という考えを、手をあげます。つけたりして、こたえをパワーアップさせるのがおもしろいです。三つ目は、あいさつです。

わたしは、気もちのよいあいさつにとりくんでいます。

みんなのえがおがあふれます。こえをかけられた人は、

「ぼくもわたしも、まねをしてみよう。町が、えがおであふれるかもしれない。」

と思いかもしれません。



※は、沼口心晴さんと金丸美心さん一学期終業式で発表しました。

すなはまの星
三年三組
新名
侑斗

「はまぼくは、海に行きました。すなはてかきしん。ゆきで星をがみんばなうなことが一つおこりました。きんばなにかというとき、星をかいたのになう。いまだそこを見たら星がなくなつてしましただけ。ぼくはあきらめさせませんでした。けれども、もうどこかきましました。けれど、またなくなりまし

「もう、なんでなくなるの。」

「思った。ぼくはおこつてちゆうい

「弟がとってもないたので、ぼく

「強くおこつてごめんね。」

「と言つたら弟がわらつてくれまし

「はいっしょにわらいまして、弟と

「た。はいっしょに楽しくあそびまし

【タ刊デイルー『光の子』
令和四年七月十二日】

第九回高森文夫を偲ぶ詩大会
〔佳作〕
水

六年一組 世見 竜之介

ポタンポタン
水が落ちたン
ポタンポタン
ねむれない
なんだからこい
昼間ならへっ
夜にならと怖い
まだ鳴って
いる

ボタンボタンポッ
どうしたんだろう
ポッ
あれ
ボタンボタンボタン
止めにこうかな
どんどん目がさめていく
ポッポッ
また弱くなった
ポッポ
やっと止まった
だれか止めてくれたんだ

※世見竜之介さんの詩は五年での作品です。

二年一組 和田 あかり

二葉
和田あかり
ぞほ
らし

【宮崎日日新聞『みんなの作品』
令和四年七月二十七日】